



備えるべきもの

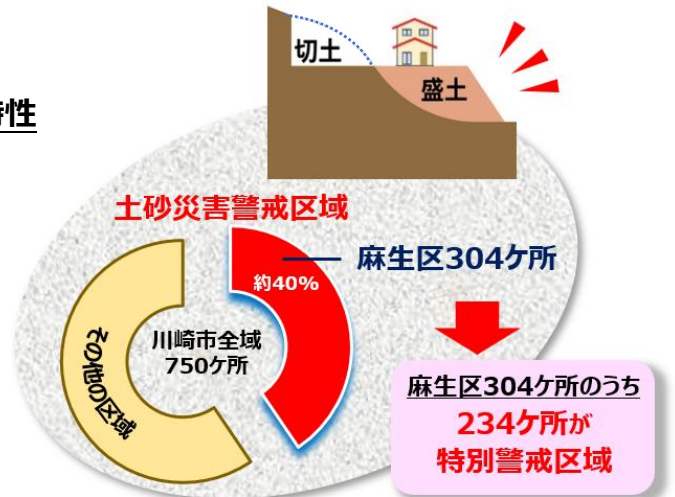
自宅の備えを考えよう

災害に対する備蓄の重要性について、具体的にどのような準備が必要か討議共有しました。

(3月14日土曜日)

1. 私たちが住んでいる麻生区、千代ヶ丘の災害リスク特性

- ①多摩丘陵の起伏に富んだ地形・宅地造成による盛り土等が最大リスク
- ②川崎全市における土砂災害警戒区域 750ヶ所の内、麻生区は304ヶ所（うち特別警戒区域 234ヶ所）川崎全市の40%強
- ③急傾斜地崩壊による全壊想定棟数 167棟

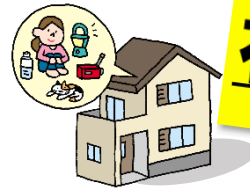


地震による土砂災害 = 建物全壊・半壊、家具等の転倒・落下、火事
 地震による電気・ガス・上水道・下水道・通信の不通
 大雨等による地崩れが想定

2. 麻生区が対象としている避難者と、避難所における備蓄品

	公助 指定避難所 千代ヶ丘小学校	共助 一時集合所 千代ヶ丘5丁目公園、千代ヶ丘公園、久敬社塾庭 (有楽自治会館隣) (こども文化センター隣)
備蓄品	食料供給 300人 (全住民の3% 3日分) 少ない!	一時集合所避難者対応及び緊急対応機材 食料・飲料水(少ない)、生活用水用井戸1基、発電機、 非常用トイレ、救助用バール等の工具・ジャッキ、 搬送用担架・車椅子、LED照明器、LED充電器、 浄水器、炊き出し用鍋・釜・炭、ブルーシート、テント等
対象	想定管内住民数 約10,000人、 避難所想定避難者 1,200人、 在宅避難、地縁避難、分散避難が困難 な人を対象	在宅避難が難しい人、不安な人、 ケガ・自宅半壊の人を対象
倉庫	1棟 (大)	各1棟 ※久敬社は来年度設置予定

3.在宅避難のための備え



在宅避難
具体的な備え、はじめましょう！

- ① **生き残る** : 耐震補強、家具転倒対策、ガラス飛散対策
- ② **ケガをしない** : 寝室防災 3 点セット (靴・笛・ライト)、ヘルメット、手袋、めがね
- ③ **自宅を守る** : 火災感知器・消火器・感震ブレーカー
- ④ **在宅避難 (最低 3 日間)** : 非常用トイレ、食料、飲料、生活用水、日用品、衛生用品、非常時インフラ、口腔ケア
- ⑤ **在宅避難 (7 日間以上)** : ローリングストック*、嗜好品、浄水、廃棄物保管

*ローリングストックとは：日常的に使う食糧や日用品を少し多めに買い、古いものから消費して、使った分を買い足す「循環型備蓄」のこと

- ⑥ **緊急避難 (一次避難・二次避難)** : 非常用持出し袋・追加持出し袋、
一次持出し品例⇒携帯トイレ (5-6 回分)、ラジオ、LED ランタン、レジャーシート、非常食 (3 食・水 2L)、食器、着替え (下着 2-3 日、長袖)、寝具 (エアマット・寝袋)、医療 (常備薬・救急セット・体温計・お薬手帳)、衛生 (マスク、生理用品)、防寒・暑さ対策 (使い捨てカイロ、冷却シート)

- ⑦ **その他** : 貴重品 (防水ケース入り)、携帯セット・充電器、災害情報アプリ・キキクル*、家族との連絡手段・落ち合い場所の確認

*キキクルとは：気象庁が Web サイトで提供する大雨による「土砂災害」「浸水害」「洪水」の危険度を地図上で色分けし、10 分ごとにリアルタイム表示するサービスのこと

備蓄の第一弾、飲料水・生活用水・非常用トイレの 3 点

料水	生活用水	非常用トイレ
1日1人3L 3~7日4人家族で36L~84L	1日1人10L (~20L) 4人家族、280L~560L	1日1人5~7回 7日間4人家族で140~196*回 ※高齢者、小さな子ども、妊婦 要介護者、女性など

まずは、
ご自宅の備蓄数を
確認しましょう。



家族構成等 (ペットを含む) を考え、各家庭での備蓄数量を決めてください。生活用水は、嵩が張りますので、室内だけでなく、屋外 (裏庭・裏スペース) の活用も一案です。

備蓄の秘訣は、ゆっくり継続することです。賞味期限等の確認は、最低年 2 回 (例えば 10 月防災の日、3 月東日本震災の日)

防災たよりに関するお問い合わせは●氏名●電話番号●お問い合わせ内容を記入のうえ下記自治会代表の専用メール、またはホームページ「お問い合わせ」にご連絡下さい。担当より折り返し連絡させていただきます。

Mail : daihyo@chiyogaoka-yurakuj.net



有楽自治会HP